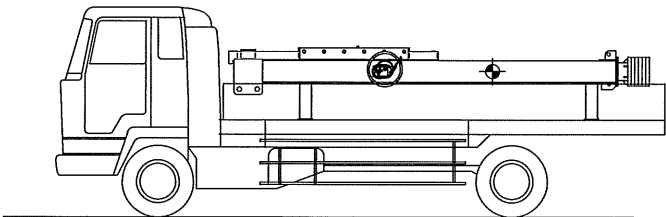
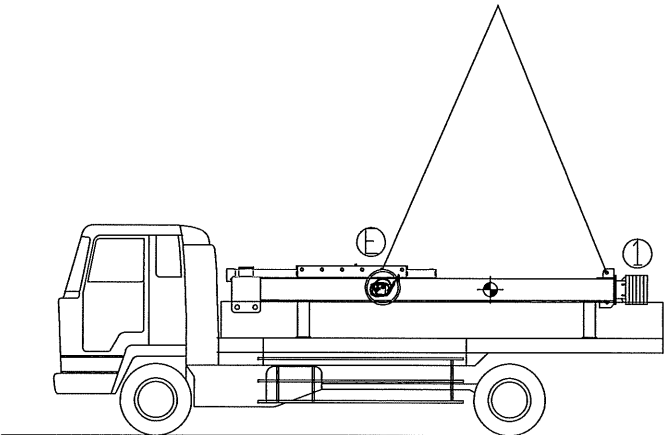
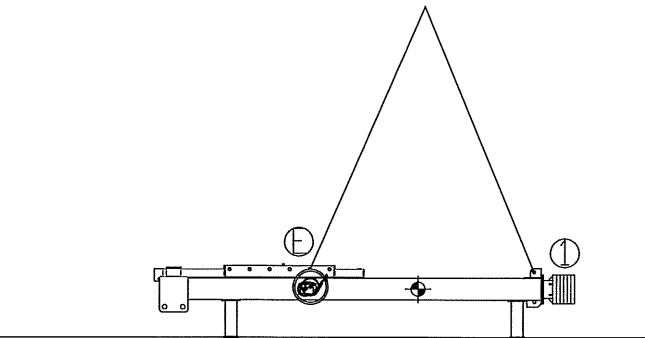


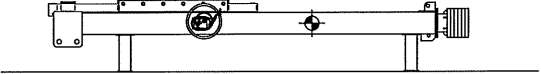
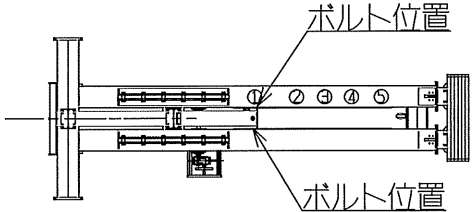
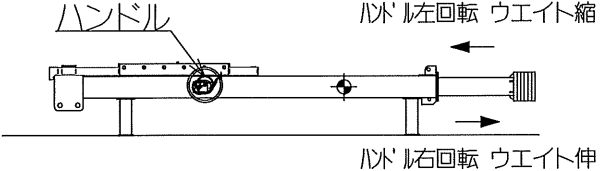
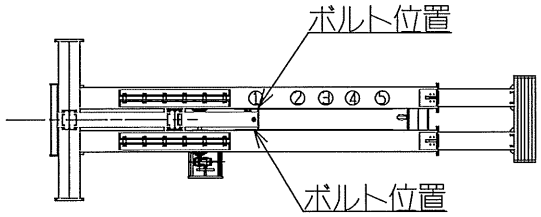
吊 治 具 伸 縮 バ ラ ン サ ー 8 t

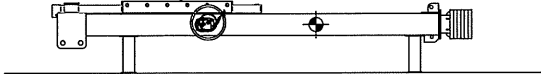
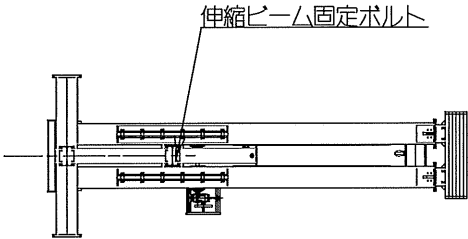
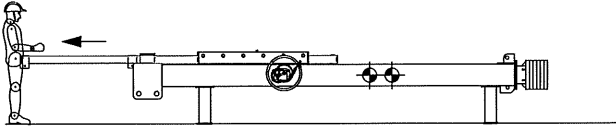
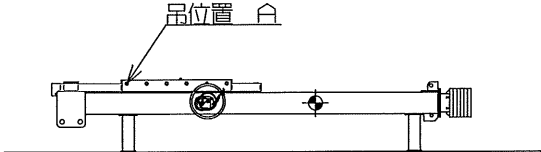
手 順 書

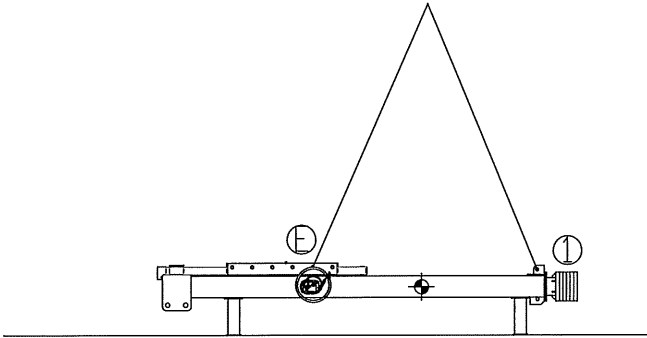
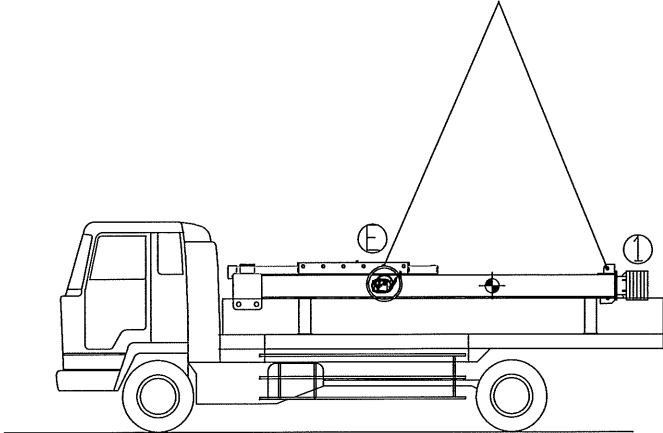
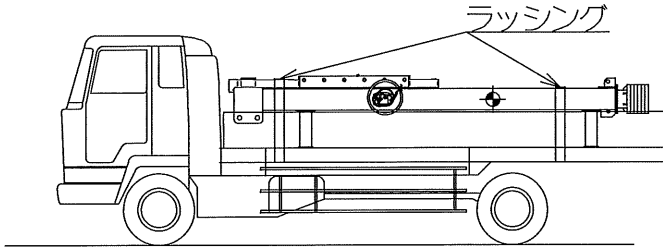
株 式 会 社 **ア ク ティ オ**

2011 年 8 月

トラック荷降時の手順	
トラックによる搬入	自重3075kgですから、それに吊荷の重量を加えたものに見合う同じ長さの玉掛けワイヤーを4本準備してください。 外觀寸法は2300×6000ですから、充分下ろせる平らな足場の良いスペースを確保してください。  4t平ボディ車 積載例
玉掛け作業	前部吊り位置をEにして、ウエイト位置を①なのを確認して下さい。この位置で水平に吊上げられます。 ウエイト固定ボルト、その他ボルトが緩んでいないことを確認します。 ワイヤーをEの吊り具（2箇所）と後部吊り具（2箇所）にシャックルを入れて吊り上げます。  水平吊り位置例
荷降ろし	足場の良い、水平な場所に荷降ろししてください。 

伸縮ウエイトの調整方法		
準備	足場の良い、水平な場所に置いて下さい 水平ではないと、ウエイトが自重で伸びて大変に危険です。 (取扱説明書10ページ 外形図参照)	
固定ボルトを外す	フレーム内側にある両側2本ずつのM16ボルト(計4本)を外します。 (必要工具:ラジエツレンチ、モキ、スパナ等)	
ウエイトの伸縮	ハンドルを回し、希望の位置に移動します。 この時、ワイヤーに挟まれないよう注意してください。	
ウエイトの固定	フレーム内側にある両側2本ずつのM16ボルト(計4本)を固定します。	

伸縮ビームの調整方法		
準備	足場の良い、水平な場所に置いて下さい。 ※必要工具無し。 ※伸縮ビームで吊上げる時は、必ず1t以下の荷とすること	
固定ボルトを外す	伸縮ビーム固定ボルトを外します。	
伸縮ビーム引き出し	人力で伸縮ビームを引き出します。 この時、挟まれないよう注意して下さい。	
伸縮ビームの固定	伸縮ビーム固定ボルトを赤い色が消えるまで締め込みます。 注意※1000Kg吊上げ時は必ず前端吊位置をAにして下さい。	

トラックへ積載時の手順		
トラックによる搬出	作業に使用した同じ長さの玉掛けワイヤー4本をそのまま利用します。 前部吊り位置をEにして、ウエイト位置を①にして下さい。この位置で水平に吊り上げられます。 ウエイト固定ボルト、その他ボルトが緩んでいないことを確認します。 ワイヤーをEの吊り具（2箇所）と後部吊り具（2箇所）にシャックルを入れて吊り上げます。	
積込時	静かにトラック上に置きます。	 4t平ボディ車 積載例
固定	荷台にラッシング、ワイヤー等で固定します。 ※積載後、5Km以内での再荷締めを行うこと。 ※保管時は、2段に積み重ねることは出来ませんが積み重ねたままでの積載移動は避けて下さい。	 4t平ボディ車 固定例